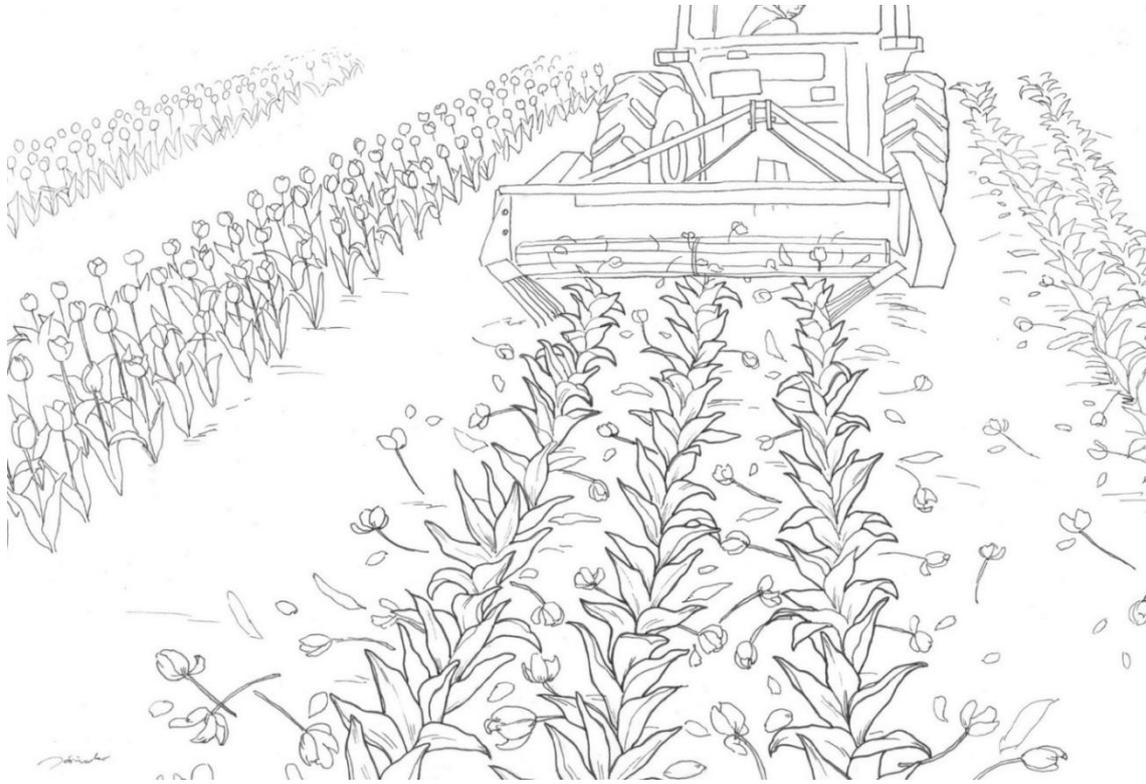


チューリップの花が…



(Drawn by Hinako FIJIMURA)

日本にだれでも知っている歌があります。「チューリップの花」という歌です。

さいた さいた チューリップの花が
ならんだ ならんだ あかしろ きいろ
どのはな みても きれいだな

この歌は、昭和5年(1930年)に近藤宮子さんという女性が作りました。昭

わねんは、にほんがだいにじせかいたいせんむと不安なときでした。「どのはな みてもきれいだな」には、「どんなことにも、どんな人にも、良いところがある」という思いが込められているそうです。

しかし戦争が始まると、チューリップは「ぜいたく品」と考えられるようになりしました。「花なんか育てていて、戦争に勝てるのか！」と、チューリップを育てている人たちは警察にどなられました。そして、チューリップが育てられなくなりました。しかし、チューリップを育てている人たちは戦争が終わるまでチューリップの球根を大事に隠し持っていました。

チューリップはオランダが有名です。ところが、オランダも戦争でナチス軍に攻撃されて、国が大変なことになりました。王様や女王様たちもカナダへ逃げました。戦争の後、美しかったチューリップ畑もめちゃくちゃになり、女王様は、もうきれいな花は咲かないのではないかと悲しくなりました。

しかし、球根は生きていました。球根は、戦争中、食べものがなかったときに、人々の食べものとしても役に立っていたのです。そこで、オランダは、戦争の後、平和と助け合いのシンボルとして、チューリップを国の花にしました。そして、たくさんの国にチューリップの球根を送りました。日本もその国の一つです。

2020年4月、千葉県佐倉市で、チューリップ80万本全てが切り取られるという出来事がありました。佐倉市は、江戸時代からオランダとの交流が深く、姉妹都市にもなっています。そのため、チューリップ畑が有名で、毎年チューリ

ツップの季節きせつになると、たひとくさんみの人が見みに来きます。

でも 2020年ねんの春はるは、世界せ中かいじゅうで新しん型がたコかんロせんナしゅうウりゅうイこうルス感かん染せん症しゅうが流りゅう行こうしました。

たひとくさんみの人がみチュきーリきツきプきを見みに来きて、コかんロせんウりゅうイこうルスがうつつたらいけな

いので、佐倉市さくらしは、チュきーリきツきプきのはな花すべを全きて切きつてまつたのです。そのしゅうまつ週まつ末つ

にチュきーリきツきプきはいちばん一き番ききれいにさ咲きくはずでした。

愛あいと平へい和わのはな花おも、チュきーリきツきプき。そのはな花おも言こと葉ばは、「思おもいやり」です。チュきーリきツきプき

プのはな花うつくが美きしくさ咲よくな世なかの中なかでありますように。

(949字)

(2020.5 Written by Yukiko OKUNO)

<参考資料>

- ・2020年4月19日付朝日新聞『咲かせておくの危険』苦渋の判断…密集避けるためチュきーリきツきプき 80万本を刈り取った。
- ・2020年4月26日付朝日新聞「21世紀の『チュきーリきツきプきの悲劇』



この作品はクリエイティブ・コモンズ 表示 - 非営利 - 継承 4.0 国際 ライセンスの下に提供されています。この作品を利用する場合は、「たどくのひろば」を出典として示してください。

例) 出典:「たどくのひろば」(<http://tadoku.info>)

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License. When you use this work, please indicate the source as in the example above.